

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良く なっている	スーパー（店長）	お客様の様子	・全体的に天候が安定していた影響もあるが、特に、シルバーウィークの効果が一番大きい。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新商品発売を控え、来客数が増加している。
(四国)	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街内に8月にオープンした商業施設、上部マンションに加え、コーヒーショップ、ナショナルチェーンも新規オープンし、人通りがかなり増えているようだ。また、シルバーウィーク中は県外客の入込もかなり多く、特に、土～火曜の4日間の集客力は高く、商店街内はにぎわった。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月中旬の物産展や、月後半の宝飾催事などが好調で、売上は前年を上回る水準で推移した。シルバーウィーク中の売上や動員も堅調であり、食品などのデイリー商材も安定した動きを見せた。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月は、前半から中盤にかけて天候不順で厳しかったが、シルバーウィークが業績を大幅に上昇させてくれた。また、気温が秋らしくなってきたことに加え、単価も上昇し、そこそこ良い結果となった。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・天候の影響もあるが、前年よりは良い数字となっている。予約状況は2～3か月先も少し良い状況になっており、このまま順調に推移していくと見込まれる。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントでの来客数が増えた。
変わらない	変わらない	商店街（事務局長）	来客数の動き	・天候不順が続いていたが、シルバーウィーク以降は秋らしい良い気候が続き、人出も安定して多く、消費も喚起されている。ただし、地方では相変わらず所得増の実感もなく、財布のひもは固い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・シルバーウィーク中の人出は多く、お彼岸用商品や敬老の日用商品の販売数が増えた。しかし、単価が低いものが中心となっているため、売上にはあまり大きく反映されていない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・料飲店への納品は低迷している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・街の状況が変わり、来客数は増えてきているが、購入する客がそれほど増えていない。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・単価が上昇した分、売上は増えているが、販売量並びに来客数は横ばいの状態である。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・競合店の増加により客数は落ちているが、客単価は落ちていない。メリハリは今もあるが、節約モードからは脱している。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・9月に入り気温の低下や天候不順とともに、来店客数が減少している。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・店舗によりバラつきはあるが、前年と比べ暑さが和らいでいる分、秋物の売行きが良くなっている。しかし、売上は依然として前年をやや下回って推移している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・大型の集客イベントを開催し、来場者数は増えているが、販売量の増大にはつながらっていない。新車販売は、まだまだ低迷している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・9月に発売した新型車効果を期待しているが、軽自動車市場は大変厳しい。登録車は前年並みに推移しているが、軽自動車は前年を大きく下回るだろう。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新車の受注は前年と横並び、登録も前年並みであり、現状伸びはないと言わざるを得ない。四国の販売店の数字も伸びていない。当社は10月以降、毎月新車投入があるため、非常に期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・9月前半は、来店客数が低調に推移していたが、後半はシルバーウィークを中心に盛り返し、前年並みを確保した。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・販売量はあまり増えていない。景気は良くなりつつあるが、国際金融情勢の動きを受け、株が大きく下落していることもあり、売上が伸びていない。

	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・宿泊客は、団体客が減っているものの、個人客が増えている。プレミアム付旅行券の発行により、個人客が流れてきているのではないが、しかし、客単価は上昇していない。また、レストラン、一般宴会は、来客数・件数共に減っており、景気が良くなっているとは言えない。	
	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・シルバーウィーク中に、国内・海外旅行へ出かける客がゴールデンウィーク並みに増加したが、連休を終えると、再び海外を中心に需要が低下している。	
	通信会社（支店長）	販売量の動き	・新端末が発売されたが、販売量の動きは若干上向ってきている程度である。	
	通信会社（企画）	お客様の様子	・8月は若干下向きと感じた。9月は下向き感は解消したが、上向きとまでは言えない。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数など、相変わらずである。	
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・店舗等の建設が増えてきているようだ。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・世界同時株安の影響が消費経済にとって大きなマイナス材料となっている。特に、中国株価の急激な低落は底を見せないだけに見通しが立たない。好材料がほとんど見当たらない極めて深刻な状況が続くのではないか。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて、少し暑いという影響もあるのか、来客数が今月は全然駄目であった。景気が上向いているとは思えない。	
	家電量販店（店員）	単価の動き	・低価格商品ばかり選ばれ、台数は出てもトータルではマイナスとなっている。	
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリンや野菜の価格が上がっているといった話を、主婦層から良く聞く。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・シルバーウィーク中は、観光地や土産物店などはゴールデンウィーク並みの忙しさであったが、その後が良くなかったため、全体としてはあまり良くない。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・街は相変わらず暇である。夏場ほど暑くないので日中の乗車回数は少なく、夜も遠方客が少ないことから、水揚げが上昇しない。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・9月の売上は、前月比15%減、3か月前比2%減、前年比6%減となった。本場での大きなレースの開催がなかったこと、出場選手の斡旋等、客を呼べる環境作りが出来ていなかったためだろう。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に低い状態が続いている。	
悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・ネットの情報で間に合う事柄については、雑誌を買わなくなってきている。	
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ここ1年は比較的順調に推移していたが、今月はシルバーウィークがあったにもかかわらず、前年を下回っている。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は前年に比べて確実に良くなっている。特に、化粧品関係は中国人観光客の爆買が大きい。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月、今月共に売上は前年並みであるが、地域や店舗によってバラつきがあり、景気の動向だけでは判断出来ない。社会、経済状況に対応しながら自社の強みを打ち出している小売店は概ね好調である。
		木材木製品製造業	取引先の様子	・大半の取引先の状況は前年並みで推移している。特別良くもないが、悪くもないといった状況である。年度初めは、年後半に向けた需要の盛り上がりを見込んでいたが、現時点では確かな手答えには至っていない。ハウスメーカー筋の8月契約数やプレカット工場の受注残は増えてきているとの情報もあり、悲観的には見ていない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内は堅調に推移している。海外は地域によるバラつきはあるが、大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自然エネルギー事業の問い合わせが大変多い。当社が始めた発電方法が仕事に結びつくのは2～3年先であるが、今は事務処理に大変忙しい。	

	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に増えたが、利益は見込めない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に、思うように受注が伸びない。	
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業発注量は前年に比べやや減少傾向にある中、発注量に部門の偏りが見られるため、得意とする部門次第で受注量は企業間格差が生じている。そのため、良くも悪くもなく、変わらないと評価した。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・取引先の状況は良く、雰囲気が良い。	
	通信業（部長）	取引先の様子	・取引先企業からは、設備投資に積極性が感じられない。自社も価格競争に陥りがちになっている。	
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・企業の設備投資も収まったように思われ、まだ不安定な景気に対して慎重さが出てきている。	
	公認会計士	取引先の様子	・顧客の試算表や決算の状況から、前年比でほとんど変わりが無い。売上、利益共に大きな変動は見られない。	
	やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量、売上共にやや減少している。特に受注に関しては、見積依頼も減少傾向にある。
		輸送業（営業）	取引先の様子	・適正運賃収受に向けての動きが、都市部に遅れをとりながらも活発化する中、取扱物量の多い荷主の一部は、時限条件付き運賃値下げを要請されている。製造品の取扱物量においては、食料品等の一部で増加傾向に推移するなど、堅調な業種もある一方で、天候の影響を受けやすい農作物については取扱物量が伸び悩み、過去数十年来での最低を記録している。また、消費地への出荷量が減少する中、卸売市場の市況は高値で推移しており、生産者側は増収傾向にあるが、輸送する運送事業者への恩恵は皆無であり、厳しい経営環境に変わりはない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(四国)	やや良くなっている	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人数が引き続き増加しており、業種を問わず各企業とも多忙による人手不足となっている。継続求人、新規求人共多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新聞の求人広告がこの18か月間ほぼ毎月120%近くの前年越えの状況が定着している。設備投資や消費の拡大には至っていないが、「仕事がある」という状況がマインドを確実に押し上げていると思う。
		職業安定所	それ以外	・8月の月間有効求人倍率は1.17倍で、3か月前より0.10ポイント改善した。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・新卒の採用状況は、8割以上の企業が採用を終了、あるいは終了予定という回答である。就職試験の解禁が昨年より大幅に遅くなっているが、水面下では、企業、学生の動きは活発であったようだ。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・以前よりも正社員の求人案件が目減りしてきている。また、依然として、給与水準が低水準に甘んじている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は過去最高ではあるが、求人条件の上昇はみられない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数が前年比16.1%減と、2か月連続の減少となっている。より良い求職、職場への転職を図るため、在職者が増えているという状況である。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・技術系の求人は増加しているが、工場系の生産は分野によっては減少し、求人が止まっている。
	悪くなっている	-	-	-